

令和5年9月15日

那須烏山市議会議長 渋井由放 様

文教福祉常任委員会委員長 福田長弘

決算審査結果報告書

本委員会に令和5年9月11日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

1 審査期日 令和5年9月12日（火）及び13日（水）

2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室

3 出席委員 福田長弘、高木洋一、相馬正典、田島信二、中山五男

4 説明のための出席者

市民課長 大谷啓夫、福祉事務所長兼健康福祉課長 岡 誠、こども課長 水上和明、学校教育課長 大鐘智夫、生涯学習課長 黒尾明美、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課の令和4年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・マイナンバーカードについては、取得に向けての周知が進み、約9割の市民が申請手続きを完了したことを評価する。今後も引き続き関係課と連携し、烏山、南那須両庁舎でのマイナンバーカード取得に係る申請支援や健康保険証との紐づけ、マイナポイント申請支援にも引き続き努められたい。
- ・熊田診療所及び七合診療所は、地域医療を担う医療機関として果たしている役割は大きい。市民のニーズに応えるべく、一層適正な運営に努められたい。

健康福祉課

- ・市民一人ひとりが自身の健康を保持・増進するよう、なすから健康マイレージ事業をはじめ各種健康診査をさらに周知し、主体的かつ積極的な健康づくりを推進されたい。
- ・ワクチン接種は、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染拡大防止の根幹となる事業である。希望するすべての市民が必要とするワクチンを接種できるよう、引き続き尽力されたい。

こども課

- ・子育てに関する相談件数は年々増加し、相談内容も多様化している。貧困や虐待、ヤングケアラーなどの問題から子どもを守るため、各関係機関との連携を図り、更なる支援体制の充実を図られたい。
- ・認定こども園については、園児が安全に過ごせ、保護者が安心して通わせることのできるこども園整備に向け、令和7年4月の開園を迎えられるよう進捗を図られたい。
- ・にこにこ、すくすく両保育園閉園後の跡地の利活用、こども館の老朽化対策など、所管施設の課題を並行して進められたい。

学校教育課

- ・中学生海外派遣事業については、異なる文化、言語、習慣、価値観を理解し、姉妹都市であるメノモニー市と継続してきた事業である。今後は学生の成長と国際的な視野を広げるためにも、新たな海外派遣先や実施方法の見直しを検討されたい。
- ・境小学校において令和4年度から小規模特認校制度を導入したところだが、児童数は減少し、来年度も複式学級になることが見込まれている。学校の実情を踏まえ、保護者・地域と協議しつつ、学校適正規模等検討委員会において適正な学校施設配置について議論されたい。
- ・学校給食費については、教職員の業務の負担軽減、徴収・管理業務の効率化、給食費管理の透明性などを期待するべく、公会計化の導入に向けての調査研究を進められたい。

生涯学習課

- ・国体のアーチェリー競技会が開催されたが、国体の盛り上がりを一過性のものにする事なく、アーチェリー競技に対する関心や競技意欲を高めるとともに、レガシー事業として普及促進に継続して取り組まれたい。
- ・烏山体育館、烏山武道館など、市の体育施設全般の老朽化が目立つ。市全体の体育施設の在り方について、施設の複合化、統廃合も視野に入れ早期に検討されたい。